

新 風

2 0 1 3

久留米工業大学同窓会会誌
第10号



グラウンドからの風景(昭和46年)

久留米工業大学同窓会

〒 830-0052 久留米市上津町2228 久留米工業大学内
電話 (0942)22-2345



同窓会会長挨拶

同窓会会長 古 賀 秀 信

謹啓 卒業生の皆様におかれましては、ますますご繁栄のこととお喜び申し上げます。交通機械工学科53年度卒業 古賀秀信です。

久留米工業大学同窓会は短大、大学時代と2016年で創立50周年を迎えます。

その間卒業された方々の総数は、約16,000名以上となり全国の自動車業界、機械業界、建築業界に限らず情報関連、また、その高等・専門教育に関して多くの人材を輩出しており北部九州に限らず全国にその影響力を持つまでになっております。

同窓生として発展していく母校は誇りであり将来に夢を持ち続けられると感じております。

さて、本同窓会の会長に就任して早3年が経ちましたが、いまだ同窓会運営・活動に関して納得のいく状態までは程遠いものを感じております。

そんな中ではありますが、本同窓会の支部づくりにおいて現在、九州地区を中心に進めております。近い将来には九州各県、地域、企業単位での同窓支部や部会の発足を、また 関西、中部地区でも支部設立を目指しております。それに伴う会の発足を促進できる規則も制作しておりますし、各支部の運営資金の援助も視野に入れております。これにより同窓会運営の体制を強化できるものと考えており、延いては多くの同窓生の発展と充実のためになると信じております。

また、新たに本同窓会のホームページも設置しておりますので、この中で忌憚ないご意見など頂けたらありがたいと思います。ホームページ内の伝言板も利用して頂けるようになりましたので、ぜひ活用をお願いします。

就任時の挨拶の中で同窓会、大学、後援会、による三位一体での改革も進み、各所での協力体制が出来つつあります。同窓生の皆様におかれましては今後とも同窓会活動にこれまで以上にご協力いただきますようお願いいたします。

私ども同窓会役員、実行委員も努力を続けて参りたいと思っております。

謹白



学長挨拶

学 長 尾 崎 龍 夫

卒業生の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

同窓会からは、例年、愁華祭、学生フォーミュラプロジェクトなど学生自主活動、卒業祝賀会へのご援助、また昨年度はマイクロバス購入費補助など、日頃から本学に多大のご支援を頂いておりますことに厚く御礼申し上げます。

大学では今、学生の就職支援に最も力を注いでおります。昨年度より、就業力育成科目を1年生から3年生までを対象にスタートさせました。本年度には、キャリアサポートセンターを開設し、これまで民間人材派遣業務を担当していたベテランを専任教員に採用し、学科横断的な細かい就職支援を行っております。また、地域連携推進室の努力により、地元企業への学生インターンシップ参加者が年々増加しています。卒業生の皆様にも、後輩達の就職支援にお力添え賜われれば幸いです。

さて、本学の建物の老朽化対策は永年の懸案事項でございましたが、今年度、1, 2, 3号館の耐震診断を行い、3号館は耐震補強改修、1, 2号館は取り壊し、大学の新しいシンボルともなる高層教育棟を建設することに致しました。来年秋頃に着工、再来年秋頃竣工の予定で、現在作業を進めている所です。新棟内には、同窓会事務局も設置する計画です。

皆様ご承知のように、4年後には、本学は創立50周年を迎えます。今後、同窓会、後援会と連携・ご支援を仰ぎながら、記念事業を企画して参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後に、卒業生の皆様のご健勝、ご活躍と、同窓会のますますのご発展をお祈り申し上げます。

創立50周年記念事業について

常任監事 林 佳彦

2016年に母校の創立50周年を迎えます。本会では、この記念を祝福する創立50周年記念事業を行うことを平成24年度役員会で承認されました。事業内容の詳細については、現在検討中であり、決定次第会員の皆様に会報誌、ホームページ及び本会・会員双方の情報交換ツールBikitaにて情報公開を行ってまいりますのでご確認ください。

現在決定している事業内容は7項目です。

1. 創立50周年記念大同窓会開催
2. 会員名簿調査及び会員名簿発刊
3. ホームページのリニューアル
4. 同窓会コミュニティーサイトBikitaの新設
5. 寄付行為の実施
6. 就職支援ページ設立
7. 支部・職場会運営支援

その要点は下記の通りです。是非とも皆様のご協力と活発なご使用をよろしくお願い申し上げます。

1. 創立50周年記念大同窓会開催について

2016年に記念の大同窓会を開催します。内容、日程については、現在計画中です。

2. 会員名簿調査及び会員名簿発刊

会員名簿及び現住所調査を「小野高速印刷（株）」と本会とが契約を結び調査・作成を依頼し、平成25年12月に会員名簿を発刊します。皆様のご協力により精度の良い名簿となりますので、本書と同封している調査票内容のご確認、名簿への掲載拒否項目の指示及び名簿購入希望を記入しご返送ください。

3. ホームページをリニューアル

50周年記念行事の一環として本会のホームページをリニューアルしました。本会からのご案内、会員からのご質問・お問い合わせ、新しく開設した同窓会コミュニティーサイト「Bikita」の使用方法等についてのご質問もお受けいたします。是非ともご確認ください。URLは下記の通りです。

URL：www.kit-doso.jp

4. 同窓会コミュニティーサイトBikitaの新設

名簿発刊に伴い、「同窓会コミュニティーサイトBikita」を利用することにしました。これは、会員の皆様よりご要望がありました「会員同士のコミュニケーション」を実現するためのものです。ご活用ください。

なお、コミュニティーに参加するために必要となるID・パスワードとご利用説明書は同封の冊子をご確認ください。

5. 寄付行為の実施

50周年記念事業運営のための寄付行為を募集します。寄付行為の方法の詳細について現在検討です。詳細が決定次第ホームページ及びBikitaに掲載します。その方法に準じて寄付をお願いします。

6. 就職支援ページ設立

会員及び在学生の就職支援の一環として、上記「同窓会コミュニティーサイトBikita」内に同窓生（中途採用）や在学生（新卒採用）向け就職支援ページを設置しました。

具体的には、同窓生から自社の求人情報を投稿して頂き、その情報を同窓生（IDが必要）はBikitaにて、新卒予定の在学生は大学就職課を通じて情報提供するものです。ただし、トラブル防止のため投稿された求人情報は事務局による確認後の掲載となります。このため掲載までお時間が必要となりますのであらかじめご了承下さい。

7. 支部・職場会運営支援

同窓会では、卒業生の皆様の相互交流及び親睦を語るため、全国に支部の開設準備を行っています。同時に職場会などの設立も募集しています。簡単ですが、支部・職場会の設立条件と支援内容を紹介します。是非この機会に同窓会支部・職場会などの開設のご検討をお願いします。

支部の目的

同窓会支部会では、卒業生の相互の親睦及び母校の発展を本部と共に実施及び助成することを目的とします。

(1) 支部会設置地域及び設置予定地区 (目標)

現在設置地区： 1 地区 …… 大分支部 (大分)

設置予定地区： 強化地区… 3 地区 (沖縄、熊本、山口)

促進地区… 鹿児島、宮崎、長崎、広島 (中四国地区)、大阪 (関西)、中部地区、
関東地区など

その他の地区

(2) 支部会設立条件

- ・支部会は、本部と共に本会の会員相互の連携を密にし、親睦を図り、併せて母校の発展に寄与する目的を達成するために活動し、特に設置地区の職場会及び会員を取りまとめる組織と定義する。
- ・支部の設立認可は、本部に下記の書類を提出し、役員会の審議を受けること。
 - (1) 本部への提出書類は、支部設立申請書、支部会則、役員名簿とする。
 - (2) 支部役員として下記の役員を定めること。
 - ①会長 1 名
 - ②副会長 1 名
 - ③会 計 1 名
 - ④監 査 1 名
 - ⑤幹 事 数名
 - (3) 毎年1回は役員会を実施し、報告 (会計報告を含む) すること。

(3) 支部への支援内容

- ①支部運営面全般については、本部の援助を受けることができる。
- ②支部運営費の補助として年間30,000円を支給する。
- ③支部が主催する総会や会合については、実施3カ月前までに実施計画書を本部に提出することで、本部の支援を受けることができる。その際の支援内容については、支部との協議により決定する。

(4) 職場会の設立条件

職場会は、職場単位、在学中に所属したクラブ、共通の趣味の集まりなどで、本会の活動目的を達成できる会員の集まりと定義する。

(5) 職場会への支援内容

- ①職場会設立条件を満たす職場会は、本部より支援を受けることができる。
- ②職場会を主催する会員は、職場会を実施する1カ月前までに実施計画書を本部に提出し、許可を受けること。
- ③許可を得た主催者は、職場会実施後、参加者の写真を添付した実施報告書と参加名簿を本部に送付すること。
- ④本会会員の参加者が5名以上の場合は、その参加人数に対して通信費の補助として1人当たり500円を主催者に支給する。
- ⑤職場会への援助は、1つの職場会に対して年1回を限度とする。

平成24年度役員会報告

常任監事 林 佳 彦

平成24年度役員会が6月23日（土）15時45分から久留米ハイネスホテルで行われた。本会開催前に昨年度課外活動援助を実施した4団体（沖縄県人会、学生ラリープロジェクト、学生フォーミュラプロジェクト、愁華祭実行委員会）のうち愁華祭実行委員会を省く3団体の報告会を実施した。また、本年度の支援を願い出た愁華祭実行委員会と学生フォーミュラプロジェクトからのプレゼンテーションを受け支援内容の判断資料とした。その後、古賀秀信会長の挨拶後審議が行われた。平成23年度事業報告及び決算報告、平成24年度事業計画及び予算審議では満場一致で承認された。しかし、愁華祭への援助については、援助の必要性は認めるが不確定要素が多いため支援金額については、会長に一任した。また、2016年に母校の50周年を迎える創立50周年記念行事を実施する実行委員会の設立も承認された。承認された議案は下記の通りである。

その後懇親会が開催され和やかな雰囲気、役員相互の意見交換と親睦を深めることができた。

平成23年度期役員

(任期：平成23年4月1日から平成25年3月31日まで)

職 名	氏 名	卒 年	氏 名	卒 年
顧問	尾崎 龍夫	学 長	石川 集充	理事長
会 長	古賀 秀信	大交54		
副 会 長	丸田 祐之	大交55		
常任監事	小嶋 剛	短自46	林 佳彦	大機56
幹 事	佐藤 修	短自43	藤木 禮作	短自43
	陣内 久始	短自43	井上 利明	短自43
	中村 金次	短自43	田中 正気	短自46
	中國 正彦	短設51	宮崎 嘉久	大交54
	中原 賢勝	大建54	中島 隆	大建54
	竹村 真一	大建58	原田 憲司	大機61
	牛島 晃司	大機63	柳瀬 伸也	大機63
	小野 弘之	大建元	小路口心二	大電元
	瀬戸口英樹	大電9		
会 計	高西 賢二	大交58		
監 査	中尾 幸平	大機56	池田 秀	大交57
書 記	梶山項羽市	大交10		

平成23年度事業報告

実施月	実 施 内 容
平成23年 6 月	第1回運営委員会開催（場所：学内） 大分県支部 支部役員会参加（本部参加者：林佳彦） 平成22年度支援団体報告会及び平成23年度支援申請団体説明会開催 第1回役員会及び役員懇親会開催（場所：ハイネスホテル久留米）
7 月	支援申請団体に支援結果報告送付（支給団体：沖縄県人会、学生ラリープロジェクト、学生フォーミュラプロジェクト）
8 月	第2回運営委員会開催（場所：学内） 第2回役員会開催（場所：学内） 支援団体の再説明会（実施団体：愁華祭実行委員会） 支援結果報告送付（支給団体：愁華祭実行委員会、支給日：10月19日）
9 月	卓球部全国大会出場支援願い受理 終身会費納入業務委託願い提出（提出先：学長、事務次長） 終身会費納入依頼送付（送付先：卒業予定者）
10月	愁華祭案内状送付（久留米近郊会員） 愁華祭来校会員にバザー券（2,000円分）配布及び KAWAMURA BAND（援助企画）実施
11月	卓球部全国大会出場結果報告受理
12月	分別式リサイクルボックス一式寄贈
平成24年 1 月	名簿発刊依頼業者に作成概要を個別説明（企業数：5社、場所：学内） 第3回運営委員会開催 名簿発刊企業1次選考会開催（参加企業数：4社、場所：学内） 愁華祭支援報告、第3回役員会及び開催役員会懇親会（場所：高等教育コンソーシアム久留米） 会員名簿発刊第1次選考結果送付
3 月	第4回運営委員会開催 名簿発刊企業2次選考会開催（参加企業数：2社、場所：学内） 卒業式祝賀会援助金寄贈、卒業式に会長参列、卒業おめでとう配布、寄付金寄贈礼状受理 未卒業者終身会費返納の住所譲渡願い提出
通 年	名簿データ管理、会員からの問い合わせ業務、ホームページ更新

平成23年度決算報告 (平成23年 4 月 1 日～平成24年 3 月31日)

平成23年度通常経費決算

【収入】

科 目	収入 (円)
終 身 会 費	4,480,000
雑 収 入	31,809
繰 越 金	5,049,738
当年度収入合計	9,561,547

【支出】

科 目	支出 (円)
学生活動補助支出	2,212,480
運 営 費 支 出	1,099,858
消 耗 品	336,947
終身会費納入依頼経費	10,530
雑 費	840,536
次年度繰越金	5,061,196
当年度支出合計	9,561,547

平成23年度積立金決算

科 目	金額 (円)
本年度積立金	0
前年度までの積立金	46,385,060
積立合計	46,385,060

平成24年度予算 (平成24年 4 月 1 日～平成25年 3 月31日)

平成24年度通常経費予算

【収入】

科 目	収入 (円)
終 身 会 費	4,260,000
雑 収 入	30,000
繰 越 金	5,061,196
当年度収入合計	9,351,196

【支出】

科 目	支出 (円)
学生活動補助支出	2,400,000
運 営 費 支 出	1,710,000
消 耗 品	500,000
終身会費納入依頼経費	10,000
卒業祝賀会支援経費	213,000
会 報 誌 発 刊 費	1,263,000
ビキタ利用契約金	315,000
ビキタサイト利用費	126,000
雑 費	840,536
次年度繰越金	2,014,196
支 出 合 計	9,351,196

平成24年度積立金予算

科 目	金額 (円)
本年度積立金	0
前年度までの積立金	46,385,060
積立合計	46,385,060

平 成 2 4 年 度 事 業 計 画

実施月	実 施 内 容
平成24年 4 月	会員名簿 2 次選考結果送付
6 月	第 1 回 運営委員会開催 (場所：学内) 平成23年支援団体報告、平成24年度支援申請説明会 第 1 回 役員会開催、役員懇親会 (場所：ハイネスホテル久留米) 会員名簿発刊及び会員相互情報交換ツールビキタ使用契約調印
7 月	会員名簿調査開始、新会員個人情報譲渡願提出、役員会議事録作成及び送付
8 月	支部会及び職場会設立要請 (沖縄、熊本、山口) 第 2 回運営委員会 (拡大)
9 月	第 2 回運営委員会、終身会費納入業務願提出及び送付資料準備 新加入者データ整理、大学との事務連絡会開催
10月	愁華祭案内状送付 (久留米近郊会員)、愁華祭にて愁華祭来校会員にバザー券 (2,000円分) 配布 愁華祭援助活動 秋葉系 MC 桃井はるこ、同窓会・大学・後援会 3 者懇親会
11月	大分支部会開催 (本部より林・牛島参加)
12月	会報誌「新風10号」発刊及び発送、ビキタ利用説明会、第 3 回・4 回運営委員会
平成25年 1 月	第 2 回役員会開催、役員懇談会
通 年	支部及び職場会開設促進業務、ビキタデータ・同窓会ホームページ更新、名簿データ管理 会員からの問い合わせ業務、創立50周年記念行事内容起案、学生活動補助支援 入学生増員及び就職支援活動

在学生への援助活動

平成23年全国学生卓球大会出場

報告者：久留米工業大学 卓球部監督 中 村 本 勝
顧問 中 村 金 次

平成23年10月27日～30日に新潟で開催された平成23年度学生卓球大会で、母校の内田健太・隠田卓司組がダブルスで九州代表として出場した。試合結果は下記の通りであった。

男子ダブルス 1 回戦

内田健太 (久留米工大) 9 — 11 徳田寛也 (中京大)
7 — 11

隠田卓司 (久留米工大) 12 — 14 青木隆児 (中京大)

結果的には3-0のストレート負けであったが、1セット前半はリードし、優勢に展開するも、大事な時にミスが出て落とした。2セット目も自分たちの卓球が出来ず、相手の闘志に圧倒された。3セット目は執拗に食い下がって再度の意地をみせジュースで先にリードしたものの挽回され最後は力尽きた。試合展開などを考えれば勝てる可能性を秘めていただけに残念であった。選手の今後の精進に期待したい。

沖縄県人会

報告者：久留米工業大学 沖縄県人会 代表 野 底 亮 太

私達久留米工業大学沖縄県人会は、昨年16人の部員で活動をしてきました。また、昨年度は新しく発足した久留米エイサー隊の皆さんとも合同で活動し、活動の幅を広げました。それから、久留米工業大学同窓会の中から支援金を頂き備品として衣装や、愁華祭の出費に回す事ができました。また、大学側からも太鼓を新しく支援されるなど、金銭面での支援が役立ちました。

なお、現在は10人と人数は昨年よりも少なくなりましたが、今後も一致団結して活動をしていきます。

昨年は代々受け継いだエイサーから新しいエイサーに変えると共に、支援金で新しい衣装に変え大学のPRと同等に沖縄エイサーを広める活動をしてきました。これからも久留米工業大学沖縄県人会として、沖縄エイサーを広めつつ久留米工業大学の名を広めていきたいと思っています。

年間活動報告

活動日時	活動内容
4月 6日 (水)	久留米工業大学入学式
8月 6日 (土)	久留米工業大学オープンキャンパス
9月 25日 (日)	国分祭り
10月 15日 (土)	平成23年度第3回浮羽真館高等学校同窓会久留米支部総会会場久留米ハイネスホテル
10月 23日 (日)	久留米工業大学学園祭 (愁華祭)
10月 29日 (土)	デイサービス元気会コスモピア
11月 3日 (木)	南牟田山集会所
11月 6日 (日)	野添町内会文化祭
11月 13日 (日)	JAふるさと祭り&金丸校区文化祭
11月 20日 (日)	筑紫野 山家宿祭り



学生ラリープロジェクト

報告者：久留米工業大学 学生ラリープロジェクト 代表 後 藤 章 文

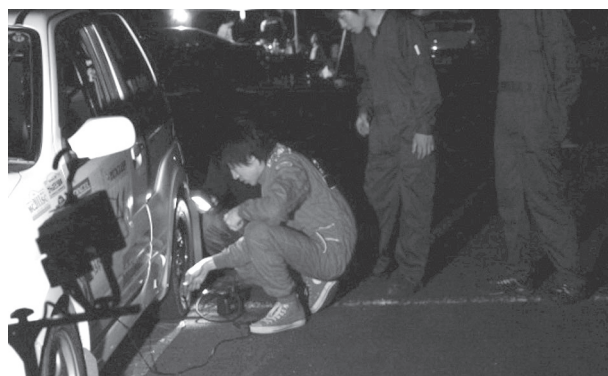
本プロジェクトは、学生主体としてラリーメカニックを結成し、日本最高峰のJAF全日本ラリー選手権大会にメカニックとして参戦することを目的として自動車部とは別組織で結成し、平成22年より本格的に活動を開始しました。平成22年には、JAF全日本ラリー選手権第1戦「ツール・ド・九州2010 in 唐津」でクスコチームのサービス隊の一員として参加し、メカニックの一員としてウインドウやボディーの清掃、その他指示された作業をしました。クスコのメカニック一員として参加することで、メカニックがラリーチームとして重要な位置にあることを実感しました。

昨年からは、本会のチームとしてJMRC九州ラリー Jrシリーズへの参戦および、2011・2012年の「ツール・ド・九州」、JMRC九州ラリー Jrシリーズ戦でのオフィシャルとして各種ラリー大会に参戦し、ラリーの勉強とメカニックとしての実力の向上に努めています。このように大学生主体の活動が珍しく月刊プレイドライブの2011年6月号、2012年8月号に本会の記事が掲載されました。

これからも本会の活発な活動を行っていきますので、モータースポーツ活動をされている先輩方も多数おられることは知っておりますが、面識がありませんので気付かれましたら声を掛けください。何もわかりませんのでご指導・ご支援をよろしくお願いします。



ツール・ド・九州2012 in唐津オフィシャル参戦



MCA CAPRICCIO 2012 参戦

教職員人事 (平成21年4月から平成24年12月まで)

平成21年度

〈新任教職員〉マイケルディリー

〈退職教職員〉田中欽一郎准教授、山口一生准教授、岡田英志講師、岩切稔教授

平成22年度

〈新任教職員〉井出純哉准教授、岩永浩、

〈退職教職員〉芹野正幸教授、中村本勝教授、坂田一矩教授、藤木正信助手、龍英夫助手、中島伸代
浦田俊郎

平成23年度

〈新任教職員〉堀憲一郎准教授、野口聡仁技術員

〈退職教職員〉隈部晃教授、蓮山寛機教授、竹中市郎教授、牧之内顯文教授、上村武講師、山下進助手、
綾垣通正助手、堤聖子